

エコアクション21
環境マネジメントシステム

環境経営レポート

2024年10月～2025年 9月



(植 生)

発行日：2025/11/30



株式会社 メック四国

〒771-2107

徳島県美馬市美馬町字上野47番地11



エコアクション21
認証番号007109

(目 次)

【1】対象組織・活動の明確化	1
【2】環境経営方針	2
【3】環境経営目標	3
【4】環境経営計画	4
【5】実施体制図	5
【6】環境経営目標の結果	6
【7】環境関連法規等一覧及び遵守評価表	8
【8】代表者による全体の評価と見直し・指示	12

【1】対象組織・活動の明確化

■ 取組の対象組織・活動

○組織の概要

(1) 名称及び代表者

- ・名称 株式会社メック四国
- ・代表者 代表取締役 宮本 卓也

(2) 所在地

- ・本社 徳島県美馬市美馬町字上野47-11

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

- ・環境管理責任者 青木 俊顕
及び連絡担当者 総務部、工事部、営業部、現場責任者
- ・TEL 0883-63-3394

(4) 事業内容

- ・ 土木工事業、とび・土工工事業、建設コンサルタント業
測量業、地質調査業

(5) 事業の規模

規模	2022年度	2023年度	2024年度
売り上げ	865百万円	824百万円	751百万円
人員	25	22	22
機械類	吹き付け機 2 ボーリングマシン 2	吹き付け機 2 ボーリングマシン 3	吹き付け機 2 ボーリングマシン 4
床面積	174m ²	174m ²	174m ²

(6) 事業年度

- ・令和6年10月1日 ~ 令和7年9月30日

○認証・登録の対象範囲

全組織・全活動

【2】環境経営方針

株式会社 メック四国

環境経営方針

斜面安定に関する技術を通して環境・社会に
貢献する

行動指針

1) 具体的に次の項目に取り組みます

- ①電力・車輛燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物の削減及びリサイクルの促進（排出総量の低減を推進）
- ③水使用量の削減
- ④環境に配慮した設計・施工の推進
- ⑤環境・強靱化に寄与する計画・設計を推進する

2) 環境関連法規・条例・規則や当社が約束したことを遵守します

環境経営方針は、全ての従業員及び下請の協力会社様に周知し、環境経営の継続的改善に取り組みます。

制定日 2024年12月15日

株式会社 メック四国

代表取締役 宮本 卓也

【3】環境経営目標

○中・長期目的と目標

■ 全体 ■

目的	単位	目 標			
		基準年(2021年)	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量削減*1	kg-CO2	157033	156248	155463	154678
・電気使用量削減	kWh	20338	20236	20135	20030
・ガソリン使用量削減	L	27456	27319	27181	27044
・軽油使用量削減(現場)	L	29801	29652	29503	29354
一般廃棄物排出量削減(事務所)	kg	206	205	204	203
産業廃棄物排出量削減(現場)	kg	8600	8560	8510	8470
水使用量削減	m3	91.0	90.5	90.1	89.6
施工ミス現場の低減	現場数	6	5	4	4

注) 施行ミス以外の各年の数字目標は基準年を基に各年-0.5%を目標としている

*1. 電力のCO₂発生量については出光グリーンパワーの排出係数0.324(kg-CO₂/kWh)を使用した。

*2. 化学物質の使用はありません。

【4】環境経営計画

・取組期間 2024年 10月 ～ 2025年 9月

■ 全体 ■

		具体的実施項目		実施責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明、休憩・不在時の消灯 ②適正温度の維持 ③省エネ型工具の使用	事務所 事務所 全 体	総務部 総務部 代表者
	ガソリン使用量削減 軽油使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③空気圧の点検・車内の整理整頓	全 体 全 体 事務所	代表者 代表者 代表者
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減 産業廃棄物削減	①紙類の再利用 ②分別の徹底 ③マニフェストの管理	事務所 全 体 事務所	代表者 代表者 総務部
水使用量削減	節水	①節水シール貼付とポスター掲示 ②ストップノズルの取付 ③洗車・工具等の洗浄回数の徹底	事務所 事務所 事務所	— — 代表者
施工ミス現場の低減	環境負荷の低減	①施行ミスによるやり直し施工の低減 ②打ち合わせ、確認の奨励 ③準備・段取りの徹底	全 体 全 体 全 体	代表者 代表者 代表者

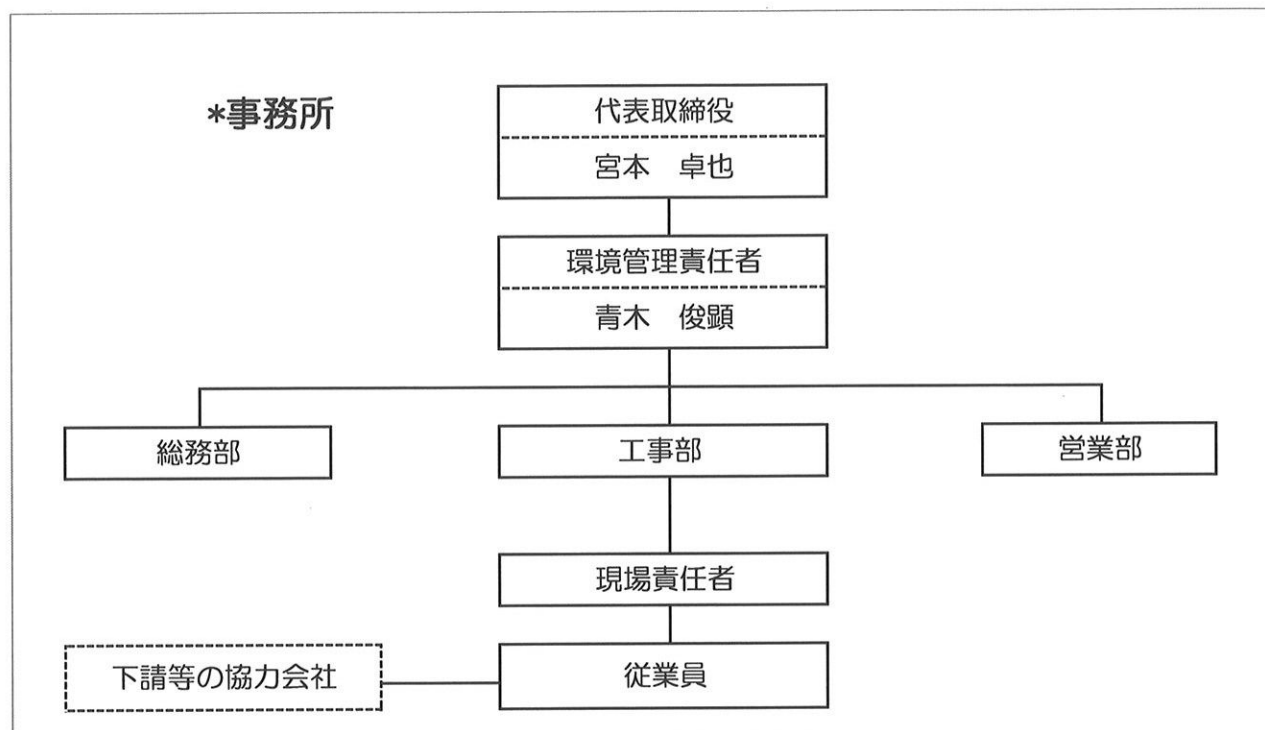
【5】実施体制図

作成日：令和7年10月2日

承認：宮本 卓也

作成：青木 俊顕

株式会社 メック四国



	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実地に必要な、人、設備、費用、時間を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 全従業員に対する教育・訓練の実施 環境経営目標、環境経営計画を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 環境経営レポートを確認し、承認 環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境経営目標、環境経営計画を作成 環境経営計画の取り組み結果を代表者に報告 環境経営レポートの作成 特定された緊急事態への対応マニュアル確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営計画の実績集計
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

【6】環境経営目標の結果

・取組期間 2024年 10月 ~ 2025年 9月

■ 全体 ■

目的	単位	基準年(2021年)	目標	実績	達成率(%)	評価
二酸化炭素排出量削減*1	kg-CO2	157,033	154678	182,603	84.7	×
・電気使用量削減	kWh	20,338	20030	22,717	88.2	×
・ガソリン使用量削減	L	27,456	27044	27,936	96.8	△
・軽油使用量削減(現場)	L	29,810	29354	44,419	66.1	×
一般廃棄物排出量削減(事務所)	kg	206	203	220	92.3	△
廃棄物排出量削減(現場)	kg	8,600	8470	4,050	209.1	○
水使用量削減	m3	91	89.6	101	88.7	△
施工ミスの低減	件	6	4	1	400	○
備 考		総受注額は減少しているが、自社施工率が増加し軽油消費両増加が大きい。電力に関しては旧排出係数を使用しているが、実際の契約は係数=0.07と小さく翌年からはこの係数を新規採用する				

注) 施行ミス以外の各年の数字目標は基準年を基に各年-0.5%を目標としている

*1. 電力のCO2発生量については出光グリッドの排出係数0.324(kg-CO2/kWh)を使用した。(出光G排出係数=0.07)

*2. 化学物質の使用はありません。

○取り組みに対する評価

二酸化炭素排出量削減	<p>1. 工事量、社有車の増加により消費量が増加している。工事は年度末の繁忙期の工期内完成を達成するため長時間の稼働となった。ガソリンは班での移動が減少し社員各自の個々の移動が多くなり目標を超えてしまった</p> <p>2. 電気量は工事、業務の集中期間が長くなったことから残業時間が増加したと判断されるが社員の残業量はさほど増えておらず明確な理由は不明。</p>
廃棄物排出量削減	<p>1. 工事分野の増加(特にアンカー関連工事)が多くなり油脂類の混合廃棄物廃棄物が増加してしまった</p> <p>2. 事務所廃棄物は市の分別に従い再資源化を実施</p>
水使用量削減	<p>1. 水道水そのものの使用量は多くないが社有車が増加しており洗車時の節水が増加した</p>
施工ミスの削減	<p>1. 環境・技術力に対する意識の改善につとめており、ミスは無くなっている</p> <p>2. 設計部門も大きなミスの発生は無いが、協議による修正が増加した</p>

【6-1】環境経営目標結果に対する取組評価と対策、

・取組期間 2024年10月～2025年9月

■ 全体 ■

		具体的実施項目	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	評価
二酸化炭素 kg-CO2	電気使用量	①不要な照明、休憩・不在時の消灯 ②適正温度の維持 ③省エネ型工具の使用	○ △ △	△ ○ ○	○ ○ ○	○ △ ○	○ △ ○
	ガソリン 使用量削減 軽油使用 量削減	①アイドリングストップの徹底 ②エコドライブの励行 ③空気圧の点検・車内の整理整頓	○ △ ○	○ △ ○	○ △ ○	× △ ○	△ △ ○
廃棄物 kg	一般廃棄物削減 産業廃棄物削減	①紙類の再利用	○	○	○	○	○
		②分別の徹底	○	△	△	△	×
		③マニフェストの管理	○	×	×	×	×
水使用量 L	節水	①節水シール貼付と ポスター掲示	○	○	○	○	○
		②ストップノズルの取付	×	×	×	×	×
		③洗車・工具等の洗浄回数 の徹底	○	○	○	○	○
現場ミス 削減	環境配慮 した取り 組み	①環境・技術力に対する意識の向上・ 改善を心がける	○	○	○	○	○
		②設計内容、数量、現場施工方法を複数 人で点検確認する	○	△	△	○	△

判例	○	達成
	△	不十分
	×	未達成

○評価に対する次年度の取組内容

目的	◆本年結果の概要	◆次年度の評価・取組内容
二酸化炭素	電力、軽油消費で大きく未達成	<ul style="list-style-type: none"> ガソリン、軽油は工事量に比例するため難しい面もあるが、低燃費型機械の導入推進。工事班のグループでの移動を推進する 電力は出光グリパワーで排出係数0となる。
廃棄物	達成率が90%とやや未達成	<ul style="list-style-type: none"> 現場廃棄物も事業量に比例するが、元請下請分担を認識し総量削減に努める。特に油脂類、廃プラスチックの分別、処分を工夫する必要がある
水使用量	工事用水で使用量がやや増加	<ul style="list-style-type: none"> 使用量は小さくなく、今後も節水を推進する。
現場ミス削減	発注者の意向変更に対する再解析が生じているが、ミスによるものは無い	<ul style="list-style-type: none"> 設計：工期内のゆとりある完成で複数体制でチェック 工事：工事の変更に迅速に対応する

【7】環境関連法規等一覧及び遵守評価表

建設業・適用される環境法令（遵守事項）				更新年月日：2025/11/30 最新確認2025/11/30			
環境法規制等の名称/略	規制内容			適用	実施	文章記録	遵守評価
	届出、作業等	適用範囲	適用条件		手続き・遵守項目	有資格担当者	遵守確認
廃棄物処理/リサイクル							
1.廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	産業廃棄物	廃プラ、建設木くず、建設紙くず、繊維くず、汚泥、金属くず、ガラスくず及び陶器くず、がれき類、ゴムくず、コンクリート破片等 水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯等）→他廃棄物との混合禁止 許可を受けた業者に契約委託、マニフェストに数量明記	○	1.委託先の許可確認 2.委託契約書の作成 3.契約書5年間保管 マニフェストの交付、	許可証の確認 契約内容確認 適合マニフェスト	○
	廃棄物の処理	廃棄物	現場保管又は仮置場	○	回収、照合 D表90日 E表180日以内 ・5年間保存 ・交付状況報告 前年実績毎年6/30まで 野外焼却の禁止 積上げ高の厳守 雨、風、悪臭発生 保管場所の掲示板	A表照合欄の確認 措置内容等報告 (知事への報告)	○
2.建設リサイクル法	①解体工事80m3以上 ②新築、増築 500m2以上 ③修理回収工事 1億円以上 ④他工作物に関する工事（土木工事）500万円以上	新築及び解体 改修工事	①発注者への書面に特定建築資材 コンクリート、木材、アスファルト	○	①発注者への計画説明 完了報告書 ②着工7日前までに 必要書類を県知事に 提出 ③分別解体等 ④再資源化の促進 ⑤再生資源の活用	①発注者への計画説明 完了報告書 ②下請負者への告知 ③知事への届出書	○
3.大気汚染 防止法	土砂の堆積場及び右記の施設を設置する作業（密閉型は除く）	一般粉じん発生施設 (設置期間30日以上)	堆積場1000m3以上 ヘルメットカバー、ヘルメットカバーの幅75cm以上 バケツ容量 0.03m3以上 破砕機、摩砕機出力75kw以上 ふるい機15kw以上		設置前に知事に届出書	届出書 規則様式第3、但し条例等上乗せ規制あり	
	解体改修工事に伴う(石綿等)の除去作業	特定粉じん排出作業	吹付石綿、石綿含有の断熱材、保湿剤、耐火被覆材使用建築物及び工作物		・作業開始14日前までに 知事に計画書提出 作業基準(則16条の4)	計画書 規則様式第3の4但し 条例等上乗せ規制あり	
4.700排出 規制法	解体工事（改修工事）	冷媒用700の回収・破壊の措置	エアコン、冷蔵冷凍機器 (ジョークス、自販機、冷水機器等)		・解体前に設置の有無を確認、発注者に書面説明 ・機器廃棄を委託された場合「委託確認書」の受理、写しを保存 700回収業者の「取引証明書」の受理保存3年間	「事前確認書」 交付年月日、元請業者 名簿、発注者名 ・機械設置有無の確認 結果	
	業務用エアコン	事業所700	すべての業務用エアコン	○	簡易点検実施 1回3ヶ月 点検記録簿保管 (廃棄後3年間)	点検表	○
5.騒音規制法 (建設)	杭打ち機、鉸打ち機 削岩機、空気圧縮機 等を使用する作業	・特定建設 作業 ・適用指定 地域			・市町村に7日前までに 届出 ・作業敷地境界で85db 以下	・市町村への事前確認 届出書(規制様式第9)	
6.振動規制法 (建設)	杭打ち機、杭抜き機 ブレーカ、舗装版 破砕機等を使用する 作業	・特定建設 作業 ・適用指定 地域			・市町村に7日前までに 届出 ・作業敷地境界で75db 以下	・市町村への事前確認 届出書	
7.浄化槽法		定期点検及び清掃 定期点検 4ヶ月/掃除年1回 水質検査 年1回 pH、BOD等		○	ライセンス業者からの 期日を確認し依頼	各点検記録を確認	○

8.徳島県脱炭素社会実現に向けた気候変動対策推進条例	事業活動		環境マネジメントシステムの導入 製造等における温室効果ガスの排出抑制	○	・E A 21の運用 ・CO2排出量削減	運用記録 環境目標、実績	○	
.9.熱中症予防基本対策 2025.6.1	職場作業	作業所 事業所	高温多湿作業場 通風、日陰、冷房等の休息所 熱中症の周知、教育	○	WBGT（暑さ指数）活用 報告体制整備 救急処置	作業場責任者 報告受付体制		

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- 1) 2024年12月15日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局よりの違反等の指摘も過去2年間ありませんでした。

【7-1】次期環境経営目標

○中・長期目的と目標

■ 全体 ■

目的	単位	目 標 (2025~2027)			
		基準年 (2024年)	2025年	2026年	2027年
二酸化炭素排出量削減*1	kg-CO2	181018	180108	179203	178298
・電気使用量削減	kWh	22717	22603	22490	22376
・ガソリン使用量削減	L	27936	27796	27657	27517
・軽油使用量削減 (現場)	L	44419	44197	43975	43753
一般廃棄物排出量削減 (事務所)	kg	220	219	218	217
産業廃棄物排出量削減 (現場)	kg	4050	4030	4010	3989
水使用量削減	m3	101	100.5	99.7	99.5
施工ミス現場の低減	現場数	4	4	4	3

注) 施行ミス以外の各年の数字目標は基準年を基に各年-0.5%を目標としている

*1. 電力のCO₂発生量については出光グリーンパワーの排出係数0.0(kg-CO₂/kWh)を使用する。

*2. 化学物質の使用はありません。

代表者	環境管理責任者
宮本	青木

【8】代表者による全体の評価と見直し・指示記録

■定期見直し（事業年度終了後）
□臨時見直し

実施日：2025年11月30日

見直しに必要な情報			代表者による見直し																					
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項																					
<p>[取り組み状況の評価結果]</p> <p>①電力、化石燃料の消費が増加している。 年度初めの4月を除きほぼフル活動の状況が続き目標達成ができなかった工事量、調査両部門の受注量が多く、また工事の作業員の技量低下(若年化)をカバーできていない。</p> <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況 緊急事態を想定した火災対応訓練が期間内で実施できていない 産業廃棄物の量は減少しているが分別がまだ不足している(熱中症対策は実施)</p> <p>③前回までの代表者の指示事項への対応 特に指示はしていなかったが、今年の燃料消費は工事量から不可抗力の面もあるが、常に社員の意識と技術の向上が必要である</p> <p><改善への提案> 緊急事態(熱中症)の対応訓練の実施はできているがおり改善されている。今年受注量の低下が見込まれ、経営的には苦しくなると予想され一層の努力が必要</p>			<p>[環境経営方針]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>工事量に支配された軽油の消費が多い。工事効率がよくないと判断されれば外注の活用拡大を試行する。 なお、軽油消費はせん孔の再施工等の地質条件によるものであるが、社員の技術向上のため数年単位で考える必要がある。</p>																					
<p>[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>活動計画 実施状況</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力の削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>夏季の電力消費減少に努める</td> </tr> <tr> <td>ガソリンの削減</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>社有車増加でも目標に近づいている</td> </tr> <tr> <td>軽油の削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>今後原因、状況を監視する</td> </tr> <tr> <td>廃棄物の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標を達成。分別を推進する</td> </tr> </tbody> </table>			目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	電力の削減	×	○	夏季の電力消費減少に努める	ガソリンの削減	△	○	社有車増加でも目標に近づいている	軽油の削減	×	○	今後原因、状況を監視する	廃棄物の削減	○	○	目標を達成。分別を推進する	<p>[環境経営目標・環境経営計画]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>燃料消費以外特に改善の必要はない</p>	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)																					
電力の削減	×	○	夏季の電力消費減少に努める																					
ガソリンの削減	△	○	社有車増加でも目標に近づいている																					
軽油の削減	×	○	今後原因、状況を監視する																					
廃棄物の削減	○	○	目標を達成。分別を推進する																					
<p><改善への提案> 電力、軽油の増加に大きく影響されているが、工事の進捗率の低下と思われるため、今後社員教育・技術向上を継続していくことが重要</p>			<p>実施体制</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>担当責任者を1年かけて変更する予定である 青木 → 中島和俊</p>																					
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より 特に問題の発生はない</p> <p>②環境関連法規制等の動向他</p> <p><改善への提案></p>			<p>[総括](環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)</p> <p>①社有車、機械稼働の増加で化石燃料の消費が増加している。継続的な追跡が必要である。 ②環境に対する社員の意識が高まってはいる。</p>																					
<p>代表者が自ら得た情報</p>																								

保管：環境事務局